

## Ⅶ 国際交流・多文化共生推進事業

### 1 国際交流・多文化共生推進事業の基本目標

**「市民や地域がグローバル感覚を養い、外国人も住みよい、互いを尊重する活力あふれる まち」**

国際交流を推進し、多文化共生に対する理解を深めることで市民や地域のグローバル感覚を養い、国際化社会に対応することのできる人材の育成と地域の活性化につなげます。

### 2 令和7年度国際交流・多文化共生事業の概要

#### (1) 国際交流推進事業

英国出身の国際交流員（CIR）を配置し、英国関係者・関係機関との連絡調整の円滑化を図るとともに、英国文化の紹介や語学教育などを実施し、市内における国際交流を推進します。

また、市内中学生を英国へ派遣し、現地生徒との交流や異国文化の体験を通して国際感覚を養い、グローバル社会に対応できる人材の育成を目指します。

#### (2) 国際理解推進事業

小中学生や市民等を対象に、国際理解に関する講座等を実施し、市民の国際理解の意識の醸成を図ります。国際交流員による講座を設けるほか、国際交流協会等関係機関から講師を招き、各種講演会を実施します。

また、国際理解や多文化共生に資する取り組みを行う市民団体に対する支援を行い、外国人住民を交えた市民交流を推進します。

#### (3) 外国人住民生活サポート事業

外国人住民のための防災講座や「やさしい日本語」研修を実施するとともに、多言語に対応した「外国人住民のための生活情報サイト」の普及と利用促進を図り、外国人住民が暮らしやすい環境を整えます。

#### (4) 外国語指導助手招致事業

国際化社会に対応し語学力の向上と国際理解の深化を図るため、中学校学区を単位として外国語指導助手（ALT）を配置し、幼児から小中学生まで切れ目のない効果的な英語教育を推進します。

### 3 英国との交流

平成 27 年 2 月の英国ウィリアム王子のご来訪を契機として、英国との交流が活発に行われています。



#### (1) 英国ケンジントン&チェルシー王室特別区と姉妹庭園覚書締結

本市とケンジントン&チェルシー王室特別区とは、平成 29 年 7 月 20 日ケンジントン&チェルシー王室特別区役所において、本市のプリンス・ウィリアムズ・パーク英国庭園とケンジントン&チェルシー王室特別区が管理するホランドパーク福島庭園との間に姉妹庭園覚書を締結しました。以来、庭園を通じた友好交流を重ねています。令和 4 年 9 月には福島庭園開園 10 周年記念式典に、姉妹庭園を設置する市として参列のために渡英し慶賀の意を表しました。



#### (2) 「未来へつなげる もとみや英国訪問団」

平成 29 年から令和元年に、「未来へつなげる もとみや英国訪問団」として市内中学生や市民が参加し、ケンジントン&チェルシー王室特別区や在英国日本国大使館、UCL（ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン）などを訪問しました。

令和元年の訪問では、王室特別区内にあるホランドパーク・スクールと英国オリンピック委員会パラリンピック委員会教育プログラム「Get Set（ゲット・セット）」参加校のダヴェナント・ファウンデーション・スクールの生徒たちとの交流も行われました。

令和 5 年度以降、新型コロナウイルス感染症による 3 年間の中断を経て、市内中学生 15 名による訪問団を結成し渡英しています。王室特別区や、在英日本国大使館、UCL の訪問に加え、交流校であるダヴェナント・ファウンデーション・スクールを訪問し、生徒同士が書道やクリケットなど両国の文化・スポーツを教え合い、体験を通して積極的なコミュニケーションを図る姿が見られました。

##### ◆これまでの英国訪問◆

平成 29 年 7 月 18 日～22 日 未来へつなげる もとみや英国訪問団の訪英

(参加者 45 名のうち、市内中学生 9 名参加)

平成 30 年 7 月 23 日～27 日 未来へつなげる もとみや英国訪問団 2018 の訪英

(参加者 24 名のうち、市内中学生 12 名参加)

令和元年 7 月 7 日～12 日 未来へつなげる もとみや英国訪問団 2019 の訪英

(参加者 26 名のうち、市内中学生 12 名、高校生（市民参加）1 名参加)

令和 5 年 7 月 1 日～7 日 未来へつなげる もとみや英国訪問団 2023 の訪英  
(参加者 21 名のうち、市内中学生 15 名参加)

令和 6 年 6 月 29 日～7 月 5 日 未来へつなげる もとみや英国訪問団 2024 の訪英  
(参加者 22 名のうち、市内中学生 15 名参加)

### (3) 「もとみや国際交流親善大使」の委嘱

令和元年 6 月、英国庭園開園記念イベント「英国庭園フラワーフェスティバル」において、英国の各方面において活躍をされている関係者 4 名を、また令和 6 年度の英国訪問時に、プリーティ・ハッド氏を「もとみや国際交流親善大使」として委嘱しました。英国との関係を強化するとともに、大使には本市の魅力や情報を発信していただいています。

#### ◆もとみや国際交流親善大使◆

- ・元英国下院議員 レディ・ボーリック氏
- ・グレーターロンドン副統監 レディ・アーノルド氏
- ・元ケンジントン&チェルシー王室特別区長 ロバート・フリーマン氏
- ・在英福島県人会ロンドンしゃくなげ会会長 満山喜郎氏（令和 7 年 3 月 5 日逝去）
- ・元ケンジントン&チェルシー王室特別区長 プリーティ・ハッド氏



#### ◆もとみや国際交流親善大使へ特別・一般功労賞の表彰

- ・令和 4 年度本宮市表彰式において英国との交流に多大な功績があった国際交流親善大使へ特別功労・一般功労表彰が授与され、表彰式に来日できなかった在英の方々へ令和 5 年度の訪問時に王室特別区役所において伝達式が行われました。

### (4) 東京 2020 オリンピック聖火リレーと英国の「復興『ありがとう』ホストタウン」

令和 3 年 3 月 27 日、東京 2020 オリンピック聖火リレーが本市で実施されました。

7 人の聖火ランナーが、スタート地点の白沢公民館前ふれあい夢広場からゴール地点の英国との友好を象徴する英国庭園まで聖火をつなぎました。聖火リレーセレモニーでは、駐日英国大使館から文化参事官のマシュー・ノウルズ氏が出席し、駐日英国大使と英国オリンピック委員会 CEO からのお祝いのメッセージを読み上げました。

本市は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で英国を相手国とする「復興『ありがとう』ホストタウン」を務めました。

令和元年の英国訪問で英国カヌーチームの練習場を訪れ、リアム・ヒース選手（東京 2020 大



会で銅メダル獲得）と交流しました。東京 2020 大会は無観客大会となりましたが、SNS 等を活用し、市民一丸となって英国チームや選手を応援しました。

本市の取り組みに対し、英国オリンピック委員会からは、ベン・モスリー氏の絵画、英国パラリンピック委員会からはTシャツなどの公式グッズをお礼としていただきました。



## （５）生徒間交流

令和元年の英国訪問で交流を行ったダヴェナント・ファウンデーション・スクールとは、令和３年度に本宮第一中学校と本宮第二中学校において、オンライン会議システムを活用し、定期的にオンライン交流を行いました。

小学校においても、元国際交流員が勤務する英国ダウンセル小学校と白岩小学校が動画交換による交流を行いました。

令和４年度にはダヴェナント・ファウンデーション・スクールの生徒 15 名、引率教員 3 名計 18 名を招待し、市内中学生との対話やゲーム、スポーツを通した様々な交流活動を行いました。

令和５年度、令和６年度の英国訪問時にはダヴェナント・ファウンデーション・スクールを訪れ学校の案内を受け、もとみやかるた、書道、クリケット、大縄跳びを一緒に行ったほか、給食を共に食べ、交流を深めました。



## （６）ケンジントン&チェルシー王室特別区との友好協定締結

プリンス・ウィリアムズ・パーク「英国庭園」の姉妹庭園であるホランドパーク「福島庭園」を有する英国ロンドン市ケンジントン&チェルシー王室特別区と本市との間で友好協定を締結しました。

「本宮市・ケンジントン&チェルシー王室特別区友好協定締結式」が令和６年４月４日に開催され、来日されたプリーティ・ハッド区長が、本宮市長と共に友好宣言書へ署名を行いました。



た。式には立会人として内堀雅雄福島県知事、ジェシカ・ウェルズ駐日英国大使館二等書記官が臨席されました。

その後プリンス・ウィリアムズ・パークにおいて、英国の春を告げる花「アーモンド」と王室特別区ゆかりの「エニシダ」の木を記念に植樹しました。



#### (7) プリンス・ウィリアムズ・パーク開園 10 周年記念式典開催

平成 27 年 2 月に英国ウィリアム王子が本市をご来訪されて 10 周年を迎えたことから、令和 7 年 5 月 31 日、「プリンス・ウィリアムズ・パーク開園 10 周年記念式典フラワーフェスティバル」を開催しました。本フェスティバルは、本宮市と英国の友好の象徴であるプリンス・ウィリアムズ・パークの節目を祝い、これまでの歩みを振り返るとともに、多くの皆様への感謝と英国との交流のさらなる発展を願って開催したものです。記念式典では、英国庭園に設置した本宮市とケンジントン&チェルシー王室特別区の友好協定締結記念碑及び、令和 7 年 3 月にご逝去されたロンドンしゃくなげ会満山喜郎名誉会長の顕彰碑がお披露目されました。



英国交流 これまでの主な経過

時 期	内 容
H27 年 2 月	英国ウィリアム王子が本宮市「スマイルキッズパーク」をご訪問
H27 年 4 月	「スマイルキッズパーク」の愛称として英国王室が「プリンス・ウィリアムズ・パーク」の使用を承認
H29 年 7 月	「未来へつなげる もとみや英国訪問団」の訪英
	「福島庭園」と「英国庭園」との姉妹庭園覚書の締結
H29 年 11 月	本宮市プリンス・ウィリアムズ・パーク英国庭園開園
H30 年 6 月	英国上院議員クリストファー・ホームズ氏（元パラリンピック金メダリストでロンドンパラリンピック統合ディレクター）来市
H30 年 7 月	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で英国を相手国とする「復興『ありがとう』ホストタウン」に登録
H30 年 7 月	「未来へつなげる もとみや英国訪問団 2018」の訪英
H30 年 11 月	英国オリンピック委員会 CEO ビル・スウィーニー氏来市
R 元年 6 月	プリンス・ウィリアムズ・パーク英国庭園フラワーフェスティバル開催
	元英国下院議員レディ・ボーリック氏ら 4 人に「もとみや国際交流親善大使」を委嘱
R 元年 7 月	「未来へつなげる もとみや英国訪問団 2019」の訪英
R 2 年 3 月	英国オリンピック委員会 CEO アンディ・アンソン氏来市
R 3 年 3 月	東京 2020 オリンピック聖火リレー本宮市区間開催
R 3 年 5 月	プリンス・ウィリアムズ・パーク英国庭園フラワーフェスティバル期間中に、元駐英国特命全権大使 鶴岡 公二氏が来市 本宮第一中学校で講演
R 3 年 8 月	英国オリンピック委員会から応援への感謝と友好の証として、絵画「From London to Tokyo」（ベン・モスリー氏作）を受領
R 3 年 9 月	英国パラリンピック委員会からパラリンピック英国チーム公式グッズを受領
	「復興ありがとうホストタウンオンラインサミット」に本宮市がアスリートとの交流ライブ配信で出演し、東京 2020 オリンピックカヌー銅メダリストリアム・ヒース選手と 2019 年の英国訪問で交流した高校生 6 人が交流
R 3 年 10 月	NHK World JAPAN（海外放送）の「復興ありがとうホストタウン特別番組」に本宮市が出演
	アマンダ・ミリング英国外務副大臣と高松市長がオンラインで会談

時 期	内 容
R 3 年 11 月	本宮第二中学校で鶴岡公二元駐英国特命全権大使講演会実施
R 3 年 12 月	白沢中学校で鶴岡公二元駐英国特命全権大使講演会実施
R 4 年 5 月	<p>プリンス・ウィリアムズ・パーク英国庭園開園 5 周年記念式典に、国際交流親善大使の満山喜郎ロンドンしゃくなげ会会長が臨席</p> <p>レディ・ボーリック元英国下院議員とリチャード・フリーマン元ケンジントン&amp;チェルシー王室特別区長がビデオメッセージ</p> <p>駐日英国大使代理として澤田事務官、鶴岡公二元駐英国特命全権大使、吉田外務省欧州局西欧課長、荒井自治体国際化協会事務局長が臨席</p>
R 4 年 9 月	<p>福島庭園開園 10 周年記念式典に参列</p> <p>在英国日本大使館において「Thank you from Fukushima レセプション」を福島県と共催</p>
R 4 年 10 月	ダヴェナント・ファウンデーション・スクールの生徒 15 名と引率教員を招待し、市内中学生と交流活動を実施
R 4 年 11 月	<p>国際交流親善大使市民表彰</p> <p>特別功労章 満山喜郎 ロンドンしゃくなげ会会長</p> <p>一般功労章 レディ・ボーリック 元英国下院議員</p> <p>レディ・アーノルド グレーターロンドン副統監</p> <p>リチャード・フリーマン 元ケンジントン&amp;チェルシー王室特別区長</p>
R 5 年 7 月	「未来へつなげる もとみや英国訪問団 2023」の訪英
R 5 年 8 月	未来へつなげる もとみや英国訪問団 OB 会
R 6 年 4 月	本宮市・ケンジントン&チェルシー王室特別区友好協定締結式挙行
R 6 年 6 月	<p>イングランドラグビー協会 CEO ビル・スウィーニー氏来市</p> <p>本宮第一中学校で講演</p>
R 6 年 7 月	<p>「未来へつなげる もとみや英国訪問団 2024」の訪英</p> <p>元ケンジントン&amp;チェルシー王室特別区長 プリーティ・ハッド氏に「もとみや国際交流親善大使」を委嘱</p>
R 7 年 5 月	プリンス・ウィリアムズ・パーク開園 10 周年記念式典開催